

【相談内容】

No117.橋台の洗掘に対する修繕方法について

- 流水がある箇所での洗掘対策について助言を頂きたい。
- 当初は橋台根元に洗掘があるため、河川水を遮断し、洗掘対策としてコンクリート充填を行う予定であった。
- しかし、実際に瀬替えを行い遮断したところ、橋台下部から水が出てきており、水を遮断することが困難となっており、常時、流水がある状態での施工が必要となっている。

【助言内容】

- 橋台周辺の流水（湧水）や洗掘の発生等は橋梁本体の健全性に大きく影響する可能性があるため、その要因を含めて詳細に調査をすることが重要
- 流水（湧水）や洗掘等が発生する要因として考えられるものとして以下が考えられる。
 - ①上流側の護岸の背面や基礎部から橋台基礎への流水
 - ②橋台背面側からの流水（湧水）
 - ③河床からの湧水 など
- これらの要因に応じた対策を検討しない場合、新たな損傷が発生することもあるため、対策工法を検討する際は注意が必要
- 河川内のコンクリート打設について参考として、現地の流入水の発生元を詳細に確認した上で上流側の瀬替え位置を決定することが重要
- また、水中でも打設可能なコンクリートでの施工等も考えられる。
- 施工方法について、現地条件や損傷原因に応じた対策となっているかの確認が重要